



たか してお あい  
高汐 亜依  
タカシオ キカク 代表

02  
-北部-

### 応募のきっかけは？

東京のテレビ局で働いていましたが、時間が不規則で、体調も良くありませんでした。旅行が趣味で歴史が好きなので、数多くの偉人たちが生まれた萩に興味があり、着物ウィーク中に1週間滞在しました。その時、写真をきっかけに出会った方々との付き合いから、萩に定期的に訪ねるようになり、協力隊の募集を知りました。

### 萩の印象は？

普通に人が生きるための街で、普通の時間の流れがあります。朝6時、昼12時、夕方6時に鐘が鳴り、夜9時にはスナックも閉まる…生きるとはそういうことだと思いました。

### どんな活動をしたいと思っていましたか？

やりたいことを見つけていきました。そして、専門学校で習得したカメラ、映像をやっていくことを少しずつ認知させていきました。

### 着任してみて、想像と違ったことはありましたか？

ある程度ギャップはあると予測していたので、特に問題はありませんでした。ギャップも悪いものとは思いませんし、それも含めて楽しむことだと思います。

### 成長したな、と思うことは？

いろんな方たちに助けられて成長したと感じています。一人でやると、こだわってしましますが、意見をもらうことでバランス感覚を養えました。



撮影前のロケハン



### 活動中のキーパーソンを挙げるとしたら？

最初の旅行で出会ったご夫婦を「萩のお父さん、お母さん」と思っていますので、何かあったときには話を聞いてもらっています。共感のときもありますし、意見されることもあります。とても助かっています。

また、協力隊の先輩にもいろんなことを聞き参考にしました。真似をするときは徹底的に真似をしました。

### 現在、そしてこれからについて

「タカシオ キカク」は萩市観光課の方が名付けてくださいました。主に行政関係の仕事をしていますが、任期中から卒業後のことを見据えて、「こんな映像ない？」と聞かれたときには、すぐに対応できるように映像を撮り溜めて準備していました。

普通に暮らし、ちゃんと生活できたら良いです。自分が成長するためには、いろんな人の話を聞き、取り入れていく必要があると思っています。

### 協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

可能な限り、準備はできるだけしたほうが良いです。旅行で来てみるというのも一つです。人と人とのつながり、家族ぐるみの付き合いはとても重要だと思うので、大切にしてほしいと思います。

たか してお あい  
高汐 亜依さん

#### ▶ 協力隊として

| 着任地 | 萩市  
| 活動期間 | 2016年8月～2019年7月  
| 活動内容 | 観光行事の撮影や新施設等のPR動画の作成等

#### ▶ 現在の仕事

タカシオ キカク 代表  
| ホームページ |  
<https://tkikaku10.wixsite.com/kikaku10?fbclid=IwAR0qp9xv9mmQB68PcDQVzSSXvW-VDT6HEHqsp5yKnsjf2kpWcMNEJdB4miA>



写真撮影



高汐さんのあゆみ

2015.10 ○ 萩でのお試し暮らし生活

2016.08 ○ 協力隊着任

主に観光イベント情報の発信や映像制作を担当

・見島観光協会内映像制作

・JR西日本主催西日本集中豪雨応援デジタルサイネージ作成

2017.09 ○ 明治維新150年OP動画作成

起業準備開始

2019.07 ○ 「タカシオキカク」設立

協力隊卒業

萩と東京の二拠点での仕事を開始